

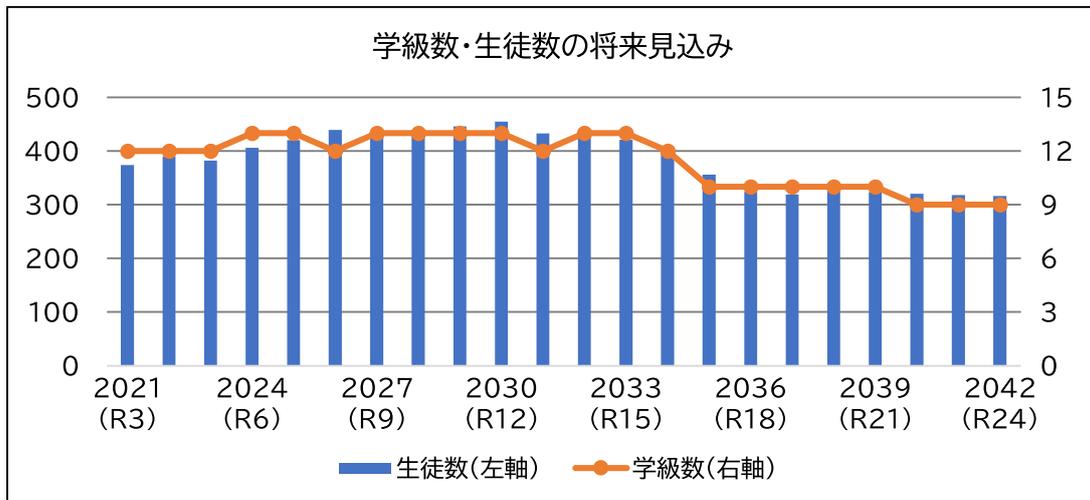
## 田無第三中学校建替え後の整備諸室等(部屋数・規模)について

### 1. 普通教室(通常学級)について

- 建替え後の最大学級数を考慮して普通教室 13 室の整備を想定する。
- タブレット端末の使用等を考慮して普通教室の広さを 84 m<sup>2</sup>(奥行き 10.5m×横 8m)と想定する。
- 多様な学習内容・学習形態に対応するため、多目的スペースの整備を想定する。

#### (1) 教室数

普通教室の教室数については、学級数の将来見込みを踏まえ、建替え後の最大数を確保することが望ましいと考えられます。このため、田無第三中学校では建替え時に普通教室 13 室の整備を想定します。



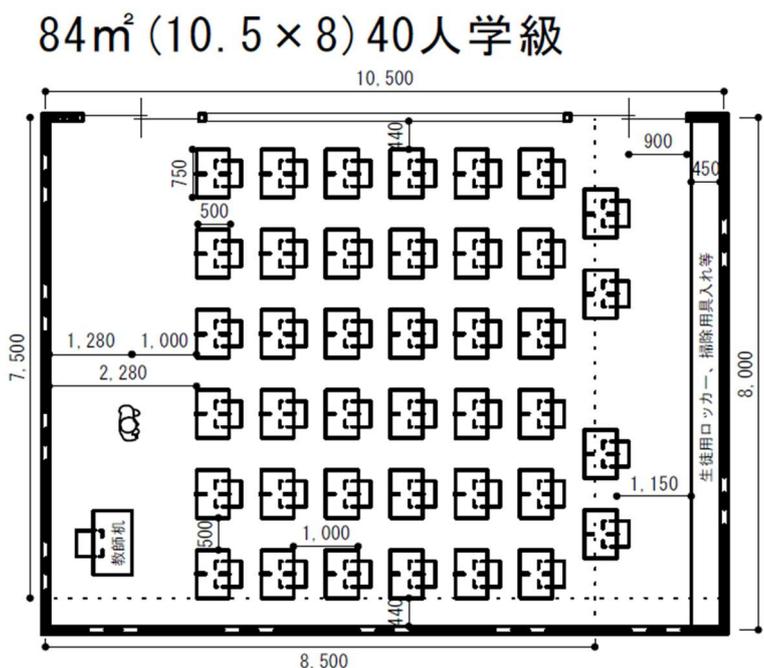
出典:西東京市学校施設個別施設計画

#### (2) 教室の規模

普通教室の規模については、「西東京市学校施設個別施設計画」において、35 人学級編成の中でタブレット端末使用に適した学習機の導入、余裕のある机配置・動線確保などを考慮し、小・中学校ともに 76 m<sup>2</sup>(奥行き 9.5m×横 8m)を標準としています。

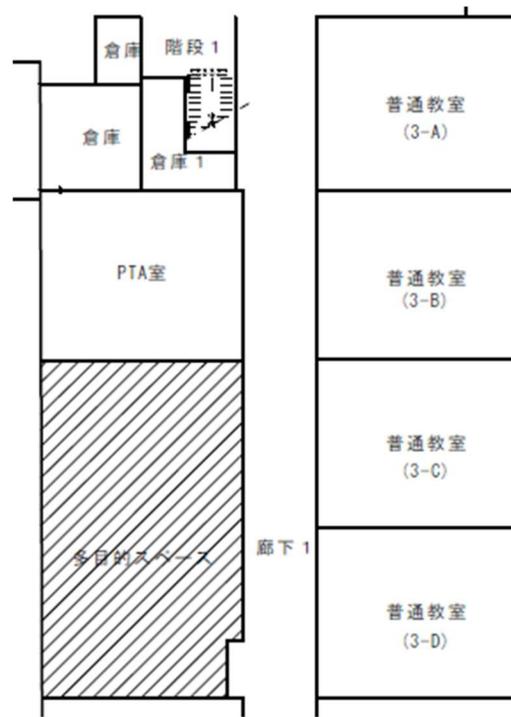
しかしながら、現在、中学校(2、3年生)においては、35 人学級編成の方向性が示されていないため、現状の 63 m<sup>2</sup>(奥行き 9m×横 7m)から 84 m<sup>2</sup>(奥行き 10.5 m×横 8m)への拡張を想定します。

なお、学級編成の方向性を引き続き注視しながら、最終的な普通教室の規模を決定していきます。



### (3) 多目的スペースの設置

多目的スペースについては、多様な学習内容・学習形態に対応し、新しい時代の学びを実現するため、普通教室の附属スペースとして各学年に1か所、普通教室2教室分の整備を想定します。



[ひばりが丘中学校における整備例]

## 2. 特別教室・管理諸室等について

特別教室・管理諸室等の標準的な部屋数・規模については、「西東京市学校施設個別施設計画」において下表のとおり示しています。また、特別教室等の規模については、普通教室(76㎡)を1コマとしたコマ数計算(0.5コマ単位)により算出しています。

[特別教室等の教室数・規模]

No.	部屋名	現状		建替え後		
		部屋数(室)	面積(㎡)	コマ数	部屋数(室)	面積(㎡)
1	理科室(準備室含む)	2	217	1.5	2	228
2	音楽室(準備室含む)	2	158	3.0	1	228
3	技術室(準備室含む)	2	222	1.5	2	228
4	家庭科室(準備室含む)	2	222	3.0	1	228
5	美術室(準備室含む)	2	192	2.5	1	190
6	視聴覚室	1	63	1.5	1	114
7	学校図書館(準備室含む)	1	155	2.5	1	190
8	少人数教室	1	63	1.0	3	228
9	特別支援教室	2	149	0.5	2	76
10	教育相談室	1	63	0.5	1	38
11	進路資料・指導室	1	63	今後検討 (個別施設計画に記載なし)		
12	多目的室	3	191			
13	生徒会室	1	63			

[管理諸室等の教室数・規模]

No.	部屋名	現状		建替え後		
		部屋数(室)	面積(㎡)	コマ数	部屋数(室)	面積(㎡)
1	職員室	1	91	※学級数の見込みを踏まえ検討		
2	校長室	1	32	0.5	1	38
3	主事室・警備室	1	32	0.5	2	76
4	保健室	1	63	1.0	1	76
5	エンカレッジルーム	—	—	0.5	1	38
6	事務室	1	32	今後検討 (個別施設計画に記載なし)		
7	放送室	1	32			
8	会議室	—	—			
9	印刷室	1	11			

3. 屋内運動場について

現状、田無第三中学校では、体育室(アリーナ部分)600 ㎡のほか、ステージや器具庫などを含めた約884 ㎡の屋内運動場を保有していますが、「西東京市学校施設個別施設計画」に基づき、下記の整備基準から建替え後は約2,404 ㎡の屋内運動場の整備を想定します。

[中学校における屋内運動場の整備基準]

- アリーナ部分はバスケットボールコート2面を確保できる広さとする。
- ステージや器具庫のほか、男女別のトイレや更衣室・シャワー室などを設置する。
- サブアリーナ(武道場)を整備する。

4. 学校プールについて

学校施設の建替えに伴うプール施設整備については、「西東京市学校施設個別施設計画」において、中学校を中心とした屋内温水プールの設置による拠点校方式を基本としています。

このため、田無第三中学校の建替えにあたっては、他校との共同利用や地域住民による利用を見据え、屋内温水プールの整備を想定します。

5. 校庭について

小・中学校の平均的な校庭の広さが約7,000 ㎡である中、田無第三中学校の校庭は9,494 ㎡となっており、中学校としては2番目に広いものとなっています。

校庭の規模については、「西東京市学校施設個別施設計画」で200mトラックの確保について言及していますが、体育指導のほか、部活動や地域利用といった視点も考慮しながら検討していきます。